

ごあいさつ

本日は、演奏会にお越しくださり、誠にありがとうございます。

この演奏会は、少しでも難病の方々の力になることができたなら、との思いで企画しました。演奏会を開催するにあたり、ご協力くださいました皆様方に心より感謝申し上げます。5月、様々な場面でいつも励まし、応援してくださいました栗原先生がご逝去されました。本日私が演奏できるのは栗原先生御夫妻の支えがあるお陰です。これまで私を支え、導いてくださいました皆様、病で苦しむ多くの方々を救ってくださいました栗原先生に届きますよう心を込めて演奏します。

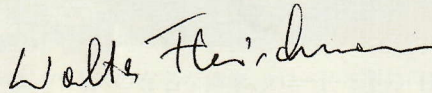
石川ゆず子

石川ゆず子は、ウィーン国立音楽大学の演奏家コースで、私のもとに学びました。私は、彼女を、優れたピアニストであり、音楽家として、高く評価しています。

彼女の演奏技術は、最も要求の厳しい曲でも、演奏することを可能にしています。彼女の継続的な関心と、努力の結果、バッハ以前の時代から、現代曲まで幅広いレパートリーを持つに至りました。

私は、彼女の大きな成功と、彼女の技術と音楽性を聴衆に伝える機会ができるだけ多くなることを祈っています。

元ウィーン国立音楽大学名誉教授 ワルター・フライシュマン



ピアノ 石川ゆず子 Yuzuko Ishikawa

1973年に岩手県盛岡市に生まれる。

岩手大学教育学部附属中学校を卒業し、16歳でウィーン国立音楽大学ピアノ演奏家コースにて四年間学ぶ。

ハンス・ペーター・マンドル、ヴァルター・フライシュマン各氏に師事。

ウィーンのヴェルデヴェーレ宮殿にてプロコフィエフツィクルス等の演奏会に出演する。しかし、勉学中にクローン病（炎症性腸疾患）と診断され、日本へ一時帰国。

その後、ポーランド国立クラコフ音楽院ピアノ演奏家コースにて一年半、イェジ・ウコヴィッチ氏に師事。また、ハリーナツェルニー・ステファンスカのレッスンを受講する。しかし、クローン病の再発で東京の病院に入院するため、帰国。

その後再びポーランドにてノヴィ・ソントシュの劇場にて音楽学校の生徒の演じるオペラの伴奏、音楽学校のコンサートに出演。

現在、再びヴァルター・フライシュマン氏にオンラインにて師事。

2022年11月 ウクライナ支援 石川ゆず子ピアノリサイタルをビッグルーフ滝沢コミュニティーセンター 大ホールで行う。

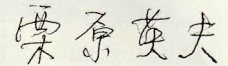
16歳でWienの音大に留学した

ゆず子さんの奏でるピアノの音——

2022年リサイタルで聴いたあのピアノの音が

16歳で戦争に行った100歳近い老医の胸の奥に今だに残っているようなのでまた聴きにまいります。

栗原クリニック 前理事長(故)



栗原は、最後の最後まで立派な医師でした。自分の体を献げる勇気と医学生に対して挑むような気持で赤のネクタイをして病理（解剖）に出掛けました。その顔は清々しい顔でした。このとき程、私はこの人の家内で良かったと思ったことはありません。（孝子様から）



モダンダンス 橋本ゆう Yuu Hashimoto

幼少よりモダンダンス、クラシックバレエを学び、10歳より野坂公夫、坂本信子各氏に師事し、本格的にモダンダンスの指導を受ける。

第13回ダンスコンペティションin 仙台モダンキッズ2部において第3位受賞。

第35回こぐべ全国洋舞コンクールジュニア1部において第5位受賞。

第80回全国舞踊コンクール現代舞踊ジュニア部において第9位受賞。

石川ゆず子の姪。

